

一 般 演 題 抄 錄

## 9. インスリン非依存型糖尿病 (NIDDM) のモデル動物 OLETF ラットにおける高インスリン血症と代謝異常

飯尾 一也    増田 克彦    大野 恭裕  
岸谷  讓    鍵田 篤志    雑賀 豊彦  
                 青木 矩彦

近畿大学医学部第2内科学教室

### 目 的

インスリン非依存型糖尿病モデル動物である Otsuka Long-Evans Tokushima Fatty (以下 OLETF) ラットを用いてその代謝について検討した。

### 方 法

雄 OLETF ラットとその対照である Long-Evans Tokushima Otsuka (以下 LET) ラットを当科で6週齢から長期飼育し、10週齢から週齢を合わせて、体重・血圧・IRI・空腹時血糖・総コレステロール・トリグリセライド・尿酸・白血球遊走能・尿中C-ペプチド、尿中総タンパクのそれぞれについて検討した。

### 結 果

①体重：10週から既に OLETF は LET に比して有意の高値を認めた。②収縮期血圧：全週齢において両群間に差を認めなかった。③空腹時血糖：全週齢において OLETF は LET に比して有意の高値を認めた。④血中 IRI：20週齢以後に OLETF は LET

に比して有意の高値を認めた。⑤尿中C-ペプチド：25週齢以後に OLETF は LET に比して有意の高値を認めた。⑥総コレステロール・トリグリセライド：それぞれ全週齢において OLETF は LET に比して有意の高値を認めた。⑦尿酸：20週齢にのみ OLETF が LET に比して有意の高値を認めた。⑧尿中総タンパク：30週齢で OLETF は LET に比してタンパク尿を認めた。⑨白血球遊走能：OLETF は LET よりも有意の低下を認めた (age matching)。

### ま と め

- 1) Otsuka Long-Evans Tokushima Fatty Strain (OLETF)は Long-Evans Tokushima Otsuka (LET)と比較し、肥満・高血糖・高IRI血症(インスリン抵抗性)・高コレステロール血症・高トリグリセライド血症を認めたが、高血圧症は認めていない。
- 2) OLETF では、タンパク尿を30週齢から認めた。
- 3) OLETF では、白血球遊走能の低下を認めた。